

露地アスパラガスの大敵である褐斑病を防ぐ効果的な防除時期を明らかにしました



図1 褐斑病の初期病斑（右下、8月撮影）と褐斑病による株の黄化（10月撮影）

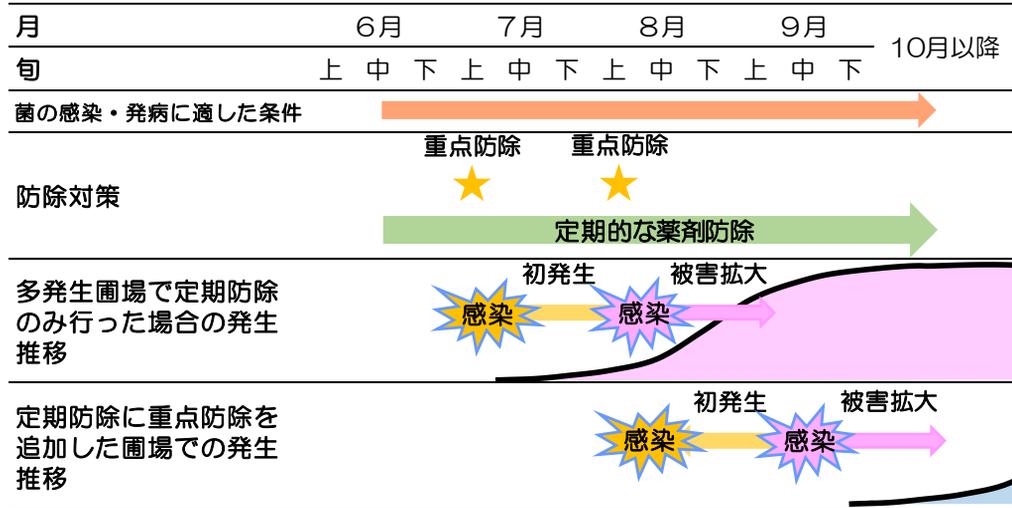


図2 アスパラガス褐斑病防除の概略図

注) 図中の「初発生」は、圃場内で初めて褐斑病の発生が認められる時期を示す。

開発のねらい

県内の露地アスパラガス産地では、褐斑病の発生が大きな生産阻害要因となっています。そこで、本病の被害抑制に効果的な防除時期を明らかにしました。

新技術の概要

- 岡山県内の露地栽培のアスパラガス産地では、6月中旬以降、褐斑病が発生しやすい気象条件となっています。
- 特に、7月上旬と8月上～中旬には感染しやすく、その後の被害が広がりやすいことがわかりました。
- 褐斑病の被害を防ぐには、6月中旬以降の定期的な防除が重要であり、特に7月上旬と8月上～中旬に確実に防除することで、被害を低く抑えることができます。

活用場面

本技術は、県内全域の露地アスパラガス栽培に活用でき、褐斑病に対して安定した防除効果が得られることで、農家所得の向上が期待できます。